

北諏訪小学校の取組

1年生：地域の公園への遠足、大瀧の森へのバス遠足、ヤギの見学と活動を広げ、経験も広がってきました。2学期はヤギの飼育に挑戦します。



2年生：地域の農家に野菜の苗を買いに行き、育て方についてアドバイスをいただきました。秋に向けて活動をどうするかみんなでお考えます。



3年生：桜の木にとって育ちやすい所とは？桜の木を守る先生からお話をお聞きし、記念植樹をするよりよい場所を探っていきます。



4年生：身近な飯田川を題材に、自然と水のつながり、人々の生活と水とのかかわりについて学び、川、水を守るために自分たちのできることは何か考え始めています。



5年生：命をテーマに自然や食と人々の生活について、自身の体験も交えながら学びを深めています。さらに地域を広げ、人々の生活と命とのかかわりを考えていきます。



6年生：上越にゆかりの偉人調べ、修学旅行での東日本大震災後の復興に尽力し、語り継ぐ活動をされている人との出会いから、人々の思いや願いを受け取りました。得たことを基に、自分の今後を考えます。



保倉小学校の取組

6年生は、総合的な学習の時間でいろいろな仕事について学んでいます。

まず、家族がどんな仕事をしているのかを聞いて簡単な紹介ポスターを描きました。紹介し合ったことで、友達の家族の仕事についても知ることができ、仕事が少し身近なものに感じられるようになりました。

修学旅行先では、見学や体験活動をする中で、様々な仕事に携わる方々等のお話をお聞きしました。お客様に対する心遣いや大切にしていることをお聞きして、自分たちが楽しく過ごせるのは、このような仕事をしている方々がいらっしゃるからだ気付きました。

また、現在アメリカ在住で日本の企業にお勤めしている方からもお話をお聞きしました。外国で生活していることを含め、子どもたちは強い関心をもちながら聞きました。自分がやりたいことに向かって臆せず行動してきたことが心に残るお話でした。



3年生は校区探検で、劔神社、下百々地区、青野池等を見学し、それぞれの場所を大切にしながら保全活動等に従事していらっしゃる方の話を聞きました。自分たちの地域について知ることがたくさんありました。一番感じたことは、地域を守りたい、よくしたいという思いをもって活動していらっしゃる方がいることです。そこから保倉の地域についてもっと知りたい、もっと大切にしていきたいという気持ちが芽生えました。



有田小学校の取組

【低学年】～人間関係形成、自己管理～

1年生は、入学してからの約2週間、スタートプランを実施しました。全校のお兄さん、お姉さんから小学校での生活の仕方を教えてもらったり、1年生同士で遊んだり担任の先生以外からも自己紹介をいただいたりしました。



2年生は、自分で野菜の育て方について調べながら野菜を育てています。地域の方に教えていただいたり、仲間と活動したりする楽しさを感じています。

【中学年】～共感性、情報活用～

3年生は、地域の「すてき」を発見する活動を行っています。地域を探検したり、地域



の方から話を聞いたりして理解を深めています。

4年生は、SDGsの取組から、身近な環境について学んでいます。今後は、ごみの減量や節水の実践などを通して「今、自分たちにできること」について考えを深め、学びを発信する予定です。

【高学年】～自己管理、協働性～

5年生は、稲作体験を通して、地域愛を育んだり、米作りや農業の課題を考えたりすることに取り組んでいます。収穫したお米をどう活用するかは、話し合いで決定する予定です。また、今後は自分の食生活についても見つめ直していきます。



6年生は、様々な職種の方から働くことの意義や社会に出るために必要な力を学んでいます。話を聞いたり体験したりすることで、その仕事の大切さを考え、これからの自分の生き方や将来に向けて、自分の夢を考えています。

春日新田小学校の取組

行事や、生活科・総合的な学習の時間など、体験を通して、キャリア教育で育てたい資質・能力を育てています。

■全校「縦割り班（なかよし班）活動」

体力テストやウォークラリー、なかよし班遊びの異学年交流の場面で、互いを思いやりながら活動を進めています。



■1年生「わたしのあさがお」

「芽を出してね」と種をまき、「大きくなってね」と心を込めてお世話する中で、自他の成長を感じ、友だちと交流を深めていました。

■2年生「わたしたちの野菜畑」

一人2種類の野菜を栽培し、販売活動も行いました。野菜に寄り添い、懸命にお世話をする中で、成長や収穫の喜びを感じ、他の人に喜んでもらうことで、達成感を得ていました。

■3年生「つばさ探検隊」

地球環境学校では、川や森の探検や木工体験をしました。今後は、フィッシングセンターや佐渡汽船に行き上越の海を追究します。上越の自然に触れ、上越のよさを感じています。

■4年生「つばさふるさと元気プロジェクト」

関川河川敷をコスモスでいっぱいにし、地域に喜んでもらおうと取り組んでいます。そのために、学校でアルミ缶を回収し、その収益でコスモスの種を買って、種まきをしました。

■5年生「妙高自然体験教室」

妙高アドベンチャー、キャンプファイヤー、オリエンテーリングなどに取り組みました。相手を思いやり、助け、励まし合いながら活動することで信頼関係を深めました。

■6年生「えがこう私の未来予想図」

近隣の商店や企業で仕事を体験したり、やりがいや苦勞について話を聞いたりして、働くことや生き方について考えています。



直江津東中学校の取組

【ようこそ先輩(1年生の取組)】

7月29日、直江津東中学校の卒業生10名をお招きし、「ようこそ先輩(職業講話)」を行いました。保育士やエステティシャン、自動車整備士、消防士など、多様な職種のお話を聞くことができました。中学校の先輩という身近な存在であったので、生徒は質問がしやすく、たくさん学ぶ良い機会となりました。



【職場体験(2年生の取組)】



7月4日、3年ぶりとなる職場体験を行いました。今年度は1日のみの体験でしたが、生徒一人一人が、働くことの意義や

大変さ、楽しさなど、学校では学べないことを体験することができました。各事業所の方からは、仕事内容以外にも、周囲への気遣いや、自分の役割に責任をもって取り組むことの大切さを教えていただきました。

【高校説明会(3年生の取組)】

6月2日・6日、上越市・妙高市の8校の先生方に来校していただきました。多数の保護者の皆様も参加されました。生徒は真剣な表情で説明を聞き、メモを取る姿も見られました。今後の進路選択、決定の一助になったことと思います。各学校でもオープンスクール等が行われます。実際に受検(受験)・進学を考えている学校については、積極的に参加するように勧めています。実際に学校に行き、見て、聞いて、体験することで、近い将来の事について、自分の事として、前向きに考えてほしいと思います。



妙高自然の家 ボランティア

今年も、有田小、春日新田小、北諏訪小から妙高自然の家のボランティア活動の要請がありました。活動は、オリエンテーリング、源流体験、クラフト、秘密基地づくり、草ぞり遊び、キャンプファイヤーなど多彩でした。

それぞれの学校が、仲間づくりをめざし、子どもたちが互いに協力し合い、励まし合いながら活動する様子がたくさん見られました。

ボランティアをしながらたくさんの元気を子どもたちからもらうことができました。



【6/26 有田小学校
秘密基地づくり】



【6/30 春日新田小学校
クラフト】



【7/18 北諏訪小学校
草ぞり遊び】

拡大定例会議 8月3日(木)

毎月実施している直東学園と青少年育成会議の定例会議に、5校の教頭先生も加わり拡大定例会議を行いました。昨年はコロナの影響で出来ませんでした。今年は例年通りこの時期に実施し、活動や会計の中間報告、今期後半や来期の計画を話し合いました。特に今回は、令和6年度上越市地域独自の予算への申請という重要な案件がありました。



意見交換の場では、妙高自然の家等のボランティア活動について話し合いました。